



認定特定非営利活動法人 2015.2.17 Vol.102

日本災害救援ボランティアネットワーク
Newsletter

響想の社会をめざして

阪神・淡路大震災20周年事業

ボランティアのつどい

1月31日(土)13時~17時、西宮市役所東館8階大ホールにて、阪神・淡路大震災20周年事業として「ボランティアのつどい」を開催しました。NVNAD理事・太田の開会挨拶でプログラムをスタートし、震災当時西宮市職員であった中野守道氏より「NVN発足の経緯や当時の状況」について、とても貴重なお話を伺いました。続いて事務局から「NVNADの20年の歩み」についてスライドで報告させていただきました。

その後、第1部の分科会では「災害ボランティア」「食」「子ども」「防災」「NPO・ボランティア」の5グループに分かれ、『震災当時』『あれから20年』『今後の展望』について意見交換をしていただきました。そして、第2部では、各分科会で出された意見を、参加者全員の前で順番に発表していただきました。最後の第3部では、西宮市の掛田様、西宮市社会福祉協議会の清水様よりコメントをいただいたのち、NVNAD理事長・渥美の総評に続き、副理事長・檜垣の閉会挨拶でプログラム終了となりました。



NVNが1995年2月1日に発足して20年。たくさんの方々の支えがあったからこそ、ここまで歩んで来られたのだと改めて実感しております。これまでご支援ご協力をいただきました皆様に、この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。この世から災害がなくなることは決してないと思います。これからも引き続き、災害に強いまちづくりに向けて、行政や社協、企業や地域の皆様と連携しながら進んで参りたいと思いますので、今後ともご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。(この事業は「ひょうご安全の日推進事業」の助成金を受けて実施しました。)(事務局)



- c o n t e n t s -

- P1 ボランティアのつどい
- P2 VISION117 / 1.17被災地交流会 / 1.17安井小学校追悼式
- P3 防災ふれあいウォーク / 中越大地震10周年事業
- P4 KSNプロジェクト / 子ども防災クラブ / 丹波市前山復興祈念祭
- P5 親子で防災講座 / イザ!美かえる大キャラバン! 2015 /
. 西宮子ども森林体験ツアー
- P6 西宮市防災連携訓練 / 西宮市浜甲子園地区防災マップ作成会 /
. 西宮浜地区防災マップ作成会 / ぼうさい探検隊マップコンクール審査会
- P7 Nうごき・Nごよみ
- P8 会員・寄付者・募金者のみなさま / 編集後記

VISION 117

いつの頃からでしょうか、新しい1年は、1月17日から始まると思うようになりました。毎年、1月17日が近づくと、1年前に考えたことが深まっているか、実現しているか、さらに発展しているかと振り返ります。そして、新たな想いをもった1年が始まります。昨年の1月17日には、こんなことを書いています。

「NVNADでは、決して騒ぎ立てることなく、お一人お一人のお気持ちやお考えを聴かせて頂きながら、20年目の毎日を大切に過ごしていきたいと考えております。」

「NVNADでは、災害ボランティアにとっての20年について、しっかりと振り返り、本当に助け合える社会を目指して活動を続けていきたいと思えます。」

昨年は、丹波市の水害対応のお手伝いをさせて

1. 17被災地交流会in西宮

1月17日（土）14時～17時、西宮市職員会館にて「1.17被災地交流会in西宮」を開催しました。今回も神戸・西宮に、新潟県塩谷集落と刈羽村、岩手県野田村の方々をお招きしました。第1部では各被災地の状況について報告をしていただき、第2部では関西学院大学社会学部関ゼミ生が考案した「防災カルタ」を全員で体験し、その後、各地の特産品（塩谷産のみどりのラー油、刈羽村産のももジュースや小エビ、野田村産のしいたけやホタテドレッシングなど）を全員で試食させていただきました。今回で4回目の開催ですが、また一段と交流の輪が広がったように思います。ご参加下さった皆様、ありがとうございました。（事務局）

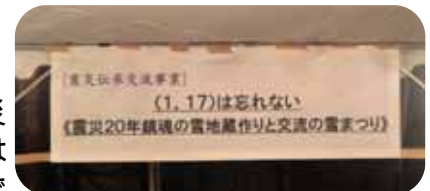


1. 17 安井小学校の追悼式

1月17日（土）西宮市立安井小学校の校庭で、阪神・淡路大震災で犠牲になられた方々の追悼式が開催され、参列しました。校庭には竹筒にろうそくの火が灯った「1.17安井」という文字と、安井地区で亡くなられた人数と同じ89体の雪地蔵が並べられていました。そして、5時46分に全員で黙祷をさ



さげました。その後、自治会長さんから当時の安井地区の被災状況についてのお話があり、子どもたちが前に並び「幸せ運べるように」などの唄を全員で合唱しました。安井小学校での追悼式の開催は、20年目にして初めての開催とのことでしたが、子どもたちや保護者など実に多くの地域住民が参列されていました。震災を知らない子どもたちの心にも、大切な何か伝わったのではないかと思います。震災で犠牲になられた皆様に、改めてご冥福をお祈り申し上げます。（事務局）



いただきました。もちろん、西宮市、新潟県小千谷市と刈羽村、佐用町、そして、岩手県野田村の皆さんとの交流も続いています。各地の皆様とできるだけ丁寧に向き合おうとして参りましたが、まだとてもとても、お一人お一人のお気持ちやお考えを聴けたなどとは言えません。

また、災害ボランティアの20年につきましては、様々なイベントや、本号で紹介しております「ボランティアのつどい」などを通して、皆様のお声を届けていただき、折に触れて考えたり、議論したりして参りました。しかし、災害ボランティアを通して目指している「本当に助け合える社会」は、むしろ遠ざかっていくような気配さえ感じる昨今の情勢です。

震災から21年目を迎え、これまでの20年を総括したり、これから20年の展望を描いたりする試みは必要だとは思いますが、しかし、NVNADでは、昨年までにやり遂げられなかった事柄に、もう一度、一つ一つ丁寧に取り組んでいくことを大切にしたいと考えています。震災21年目も引き続きご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 渥美 公秀



防災ふれあいウォーク

11月16日(日)、武庫川女子大学にご協力いただき、南海トラフ大地震を想定した『防災ふれあいウォーク』を実施しました。参加者は、鳴尾浜にある総合スタジアムに集合し、まず津波災害について説明を受けました。ひきつづき防災クイズにチャレンジ、PTT(プロフェッショナルトレーナーズチーム)坂口氏の指導で準備体操をした後、班に分かれて防災

ウォークラリーに出発しました。途中、津波避難ビルに指定されている小学校や消防署など5ヶ所のチェックポイントを通過し、国道43号線沿いにある栄養科学館を目指しました。

ゴールである栄養科学館に到着後は、協賛9社/団体、大塚製薬、カ

ゴメ、江崎グリコ、キューピー、ミツレフーズ、岡根谷、大和重工、全国無洗米協会、大潟村あきたこま

ち生産者協会のブースを参加者が順番に回り、災害食や栄養補助食品の試供品を受け取りました。最後は甲南女子大学名誉教授の奥田和子先生に、災害食や炊き出しについてのミニ講演を実施していただき、プログラム終了となりました。昨年に引き続き、武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科2年生のみなさんには、企画から当日の運営まで全面的にご協力いただきました。武庫川女子大学の関係者の皆様に、心よりお礼申し上げますと共に、当日運営をサポートして下さった大阪大学の皆様、NVDのボランティアの皆様にも感謝申し上げます。(この事業は「ひょうご安全の日推進事業」の助成金を受けて実施しました。)(事務局)



中越大震災10周年事業が開催されました

平成26年11月29日(土)、新潟県刈羽村生涯学習センター「ラピカ」にて『中越大震災10周年事業～つながる“絆”in刈羽～』が刈羽村社会福祉協議会の主催で開催されました。午前中のシンポジウムでは、パネラーの1人として、阪神・淡路大震災や中越沖地震当時の状況などの写真をスクリーンに映しながら、「災害で得たこと、学んだこと」を説明させていただきました。午後からは12グループに分かれ、具体的な内容について参加者全員で話し合いました。最後に発表を行い、プログラム終了となりました。

前日28日(金)の夜には交流会が盛大に開催され、刈羽村の方々をはじめ岩手県野田村の方々やNPO法人レスキューストックヤードのスタッフの方とも再会ができました。また、福島県双葉町の方々とも初めてお会いする機会となりました。

10年前の中越地震、そして中越沖地震を通じてできた繋がりが、現在も継続していることを嬉しく思っています。これからも、刈羽村社会福祉協議会をはじめ、皆様との繋がりを大切に、活動に活かしていきたいと考えております。(事務局)



KSNプロジェクト

「学習交流会」

11月23日（日）、KSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNAD主催で、県外避難されている子どもたちを対象に、学習交流会を開催しました。まず、関西学院大学の災害復興制度研究所に集まり、大学生のサポートのもと各自勉強を行い、教育学部（旧聖和大学）の学園祭に遊びに行きました。ヨーヨーつりやスーパーボールすくいなどに参加したり、屋台で食べ物を購入したりと楽しい交流のひと時を過ごしていただき、最後は関西学院大学の中央芝生広場でおもいっきり走り回りました。



「クリスマス会」



12月18日（木）18時から、関西学院会館においてKSN主催によるクリスマス会を開催しました。関ゼミ生の皆さんの進行で、唄あり、クイズあり、ダンスありと、とても楽しいプログラムが用意されていました。途中でサンタの登場もあり、参加した子どもたちは大喜びしていました。今回は14組の親子が参加して下さり、参加者同士、あるいは学生の皆さんと楽しい交流のひと時を過ごされました。県外避難されている皆さんはそれぞれが課題や悩みを持っておられることと思いますが、KSNとしては、

引き続き県外避難者の皆さんに少しでも寄り添っていければと思っています。（事務局）

子ども防災クラブ

12月13日（土）、子ども防災クラブ（第4回目）の活動を実施しました。今回のテーマは「避難所の生活について」で、地元の北口町自治会の皆様にもご参加いただき、全体で6つの班を編成し、第1部と第2部に分けて実施しました。第1部では、電気やガスがストップしている想定下で真冬の避難所で宿泊する場合、暖かく過ごすための工夫を話し合ってもらいました。第2部では、ダンボールや新聞紙など限られた備品を使い、寒さを防ぐための工夫を班ごとに模擬体験した後、発表をしました。寒さ対策の基本は、床下からの冷気をいかに防ぐかがポイントであるということ、最後に北口町自治会長さんからお話ししてくださいました。阪神・淡路大震災で被災された北口町自治会の皆さんから当時の様子を直接お聞きでき、子どもたちも学ぶことが多かったことと思います。北口町自治会の皆様、ご協力ありがとうございました。（事務局）



丹波市

「前山復興祈念祭～その前に～」

災害から3ヶ月を迎えた11月16日（日）、丹波市前山コミュニティセンターとその周辺を会場に『前山復興祈念祭～その前へ～』が開催され、NVNADからはボランティアさんにご参加いただきました。ボランティアの皆さんのご協力により、食べ物コーナーや子どもたちの遊びコーナー、ステージや健康相談など、手作りの素敵なお祭りが開催され、地元の方々がたくさん参加される盛況ぶりでした。寒くなる季節に向かい、これからも支援の輪、交流の輪が広がればと願っています。（事務局）



～ 親子で防災講座 ～

11月19日(水)西宮市立子育て総合センター 2階研修室において「乳幼児親子防災講座」を実施しました。NVNAD理事である米山を講師に迎え、災害時の行動や日頃の備えについてなどをテーマにスライドを交えながらお話しを聞きました。子育て真っ最中の親子12組が参加してくださり、子どもを連れて逃げることへの不安について本音のトークが飛び交いました。災害時「一番大切なことは、わが子の手を離さないこと」米山理事の実体験に基づいたお話しに、みな様にうなづいていました。



阪神・淡路大震災から20年を迎え、また近い将来には南海トラフ巨大地震が想定されています。子育て世代の防災意識向上は、地域における防災活動の活性化を促します。また交流会を通して少しでも災害に関心を持っていただき、イザというときに被害を最小限に食い止めることを目的に開催しました。(事務局)

イザ！美かえる大キャラバン！2015

1月25日(日)、神戸市のJICA関西において、毎年恒例となりましたNP0法人プラス・アーツ主催の「イザ！美かえる大キャラバン！2015」が開催され、我々はボランティアさんと一緒に、兵庫県佐用町特産品の竹炭を使った竹炭石けんづくり体験を実施させていただきました。13時から16時頃まで、子どもから大人まで実にたくさんの方がお越し下さり、みなさんとも熱心に竹炭石けんづくりに挑戦して下さいました。中には、海外からJICA日本に研修に来られている外国人グループの参加もあり、世代や国を問わず様々な方に、この竹炭石けんづくりを通じて

NVNADの活動や佐用町水害の被災地の様子をPRすることができて大変有意義な機会となりました。(事務局)



西宮子ども森林体験ツアー

11月8日(土)ささやまの森公園にて「西宮子ども森林体験ツアー」を開催しました。

午前中は、森の中でピンゴゲームの用紙に書かれた植物や生物などを探し、自然と触れ合いながらゲームを行いました。普段見たことのないようなものも拾い、子どもたちは感動していました。午後には、森の中に入って間伐体験を行いました。指導員の方からは、森の手入れをしなければ太陽の光が地面に届かず、根がしっかり張らずに弱い木が育ち、そこに大雨が降ったら土砂崩れなどの災害につながるという説明があり、子どもたちは間伐の重要性を感じた様子でした。

この森林体験ツアーを通じて、森の大切さ、森と災害との関係などを学んでもらえたのではないかと思います。ささやまの森公園の指導員の皆様、ご協力ありがとうございました。(事務局)



西宮市防災連携訓練実施

11月22日（土）、西宮市総合福祉センターにて、西宮市、西宮市社会福祉協議会、西宮市国際交流協会、NVNADの4者が主体となり、防災連携訓練を実施しました。午前中は、災害ボランティアセンターの立ち上げと運営の訓練に参加し、午後からは避難所の運営訓練を全体で実施しました。この防災連携訓練は昨年に引き続き2回目の開催となりましたが、我々の団体としても色々と課題点が浮かび上がり、次なる災害に備えとても有意義な訓練となりました。（事務局）



西宮市浜甲子園地区 防災マップ作成会

1月24日（土）、西宮市浜甲子園団地中央第2集会所に於いて、西宮市浜甲子園地区防災マップ作成のための「第2回防災マップ検証会」が開催されました。

この検証会には、各地区の自治会、自主防災会の方々が出席され、NVNADも協力させていただきました。浜甲子園で最も危惧される「武庫川氾濫、津波災害」を想定災害（テーマ）に、前回の「第1回目防災マップ検証会」で挙げられた追加したい情報や削除したい情報について、確認作業を行いました。

今回は、2月21日（土）「第3回目の防災マップ検証会」が開催される予定です。（事務局）



西宮浜地区 防災マップ作成会

12月21日（土）、西宮浜公民館講堂に於いて、西宮浜地区防災マップ作成のための「第2回防災マップ検証会」が開催されました。

この検証会は、西宮浜マリーナパークシティ協議会の主催によるもので、NVNADも協力させていただいています。西宮浜地区で最も危惧されている「津波災害」を想定災害（テーマ）に、10月4日に実施した「第1回目防災マップ検証会」で議論し追加したい情報、削除したい情報について、確認し再度議論を重ねました。（事務局）



『ぼうさい探検隊マップコンクール』 審査会

12月17日（水）、日本損害保険協会（東京）に於いて『ぼうさい探検隊マップコンクール』の本審査会に参加させていただきました。今回で11回目を数え、全国から寄せられたマップの総数は2,267作品にのぼり、17,187名もの児童が関わっているとのことでした。マップは、年々着実にレベルアップしていると感じますが、今年も力作揃いでした。表彰式は来年3月に仙台で開催、NVNADの「わがまち再発見賞」を含めた入賞作品につきましては、来年1月16日前後に朝日新聞やホームページなどで発表される予定です。（事務局）



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。



11月	19日	親子で防災講座（西宮市）
	20日	コーディネート事業「フリートークの日」（西宮市）
	22日	ボランティア体験セミナー（西宮市）
		3団体連携防災訓練（西宮市）
12月	22日～23日	佐用町訪問（佐用町）
	23日	KSNプロジェクト「交流学習会」（西宮市）
	30日	第2回災害ボランティアコーディネーター養成講座（伊勢市）
	13日	第4回子ども防災クラブ（西宮市）
1月	13日	災害ボランティアコーディネーター養成講座（大阪府柏原市）
	14日	第3回災害ボランティアコーディネーター養成講座（伊勢市）
	17日	ぼうさい探検隊マップコンクール審査会（東京都）
	18日	KSNプロジェクト「クリスマス会」（西宮市）
	20日～21日	佐用町訪問（佐用町）
	21日	西宮浜地区防災マップ作成会「第2回検証会」（西宮市）
	9～11日	チャリティカレンダー市（西宮市）
	17日	1.17被災地交流会（西宮市）
	19日	NVNAD臨時理事会（西宮市）
	24日	浜甲子園地区防災マップ作成会「第2回検証会」（西宮市）
2月	24日	第5回子ども防災クラブ（西宮市）
	25日	防災親子講座（伊丹市）
	25日	イザ！美かえる大キャラバン！2015（神戸市）
	26日	コーディネート事業「フリートークの日」（西宮市）
	29日	コーディネート事業「フリートークの日」（西宮市）
	31日	震災20周年行事「ボランティアのつどい」（西宮市）
	3日	武庫地区防災マップ作成会（尼崎市）
	6日	武庫地区防災マップ作成会（尼崎市）
	7日	市民活動支援講座「防災意識が被害を減らす」（西宮市）
	7日	日本新薬大阪支店講座「東日本大震災支援ボランティア」（大阪市）
	14日	赤穂市社会福祉協議会災害ボランティア講座（兵庫県赤穂市）
	14～15日	佐用町訪問（佐用町）
	16日	コーディネート事業「フリートークの日」（西宮市）
	17日	ニュース .102発行

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

2月	19日	コーディネート事業「フリートークの日」（西宮市）	
	21日	浜甲子園地区防災マップ作成会「第3回検証会」（西宮市）	
	22日	KSNプロジェクト交流イベント（西宮市）	
	26日	丹波市訪問（丹波市）	
	28日	第6回子ども防災クラブ（西宮市）	
3月	28日	親子でわがまち探検隊（西宮市）	
	6日～10日	東日本大震災第24回ボランティアバス（岩手県野田村）	
	14日	猪名川町社協災害ボランティア講座（猪名川町）	
	15日	ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式（東京都）	
	16日	NVNAD理事会（西宮市）	
	21日～22日	佐用町訪問（佐用町）	
	24日	用海地区災害に対する心構えを地域づくり（西宮市）	
4月	26日	KSNプロジェクト学習会（西宮市）	
	27日	大阪大学未来共生報告会（大阪市）	
	28日	東大阪市災害ボランティア講座（東大阪市）	
	28日	ボランティア受入セミナー（西宮市）	
	4～5日	佐用町訪問～桜まつりに参加～（佐用町）	
	12日	高木春祭りに参加（西宮市）	
	5月	15日	NVNAD通常理事会（西宮市）
		17日	ニュース .103発行
30日		NVNAD会計監査（西宮市）	

第19回チャリティカレンダー市



毎年恒例となりました「チャリティカレンダー市」を、西宮市役所東館8階の大ホールにて、1月9日(金)～11日(日)の3日間の日程で開催しました。今年で19回目となりましたが、今回も例年以上に、全国各地の企業や個人の皆様からたくさんのカレンダーや手帳を送っていただきました。初日の9日(金)は、開始時刻10時の1時間以上も前から会場の外に長蛇の列が出来ていました。今回は、「西宮えびす」の日程とちょうど重なり、お昼頃まで行列が途切れることがないほどの盛況ぶりでした。3日間の売上合計は1,514,470円、募金は18,511円となりました。売上(募金も含む)につきましては、東日本大震災や丹波市水害、佐用町水害など国内外の災害支援活動や、今後の災害時の緊急支援活動などに大切にに使わせていただきます。ご来場者の皆様、カレンダーをご寄贈下さった皆様、ボランティアとして運営をサポートして下さいました皆様にお礼申し上げます。今回も、カレンダーや手帳の一部を、東日本大震災の被災地である岩手県野田村や福島県郡山市にもお送りしました。郡山市においては、地元のNPO法人ハートネットふくしまさんが、仮設住宅に入居されている方々に配布して下さいました。(事務局)



～ 会員・寄付者・募金者のみなさま～

■継続会員のみなさま (2014年11月1日～2015年1月31日)

個人正会員：「継続」池田 直樹、二宮 英夫、定藤 美雪、片岡 春樹

■寄付者のみなさま (2014年11月1日～2015年1月31日)

「一般」：近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、池田直樹、浜本 教子 神戸高専学生会、山崎 裕代、藤村 暁子、深山 操江、マスダ ナオキ、二宮 英夫、定藤 美雪

■募金者のみなさま (2014年11月1日～2015年1月31日)

「東日本大震災」松崎 恵子、大江 良一、平谷 真彦、今井 千郎、小椋 康成、深山 操江 浜本 教子、オイシイキヨウヤサイキヤ、アイテイゴゴロク ナカカ、グッドスナカヤマ ヨシフルツカ、ヤマウチ キミエ、いっぼ、には、こころを結ぼう、カレンダー市にご来場の皆様
「丹波市水害」平谷 真彦

■ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込みで、いただいた方につきましては、振込名で、ご紹介させていただきましたので、ご了承下さい。

編集後記

2015年2月1日で、NVNADも発足して20年を迎えました。今後の大きなテーマは、『次世代のリーダー育成』です。今後の予期せぬ災害に備えて、産・官・学・民が一丸となって取り組んでいければと思います。今後ともご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。(H・T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子